

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	花卉園芸各論						授業形態	講義	
科目コード	710029	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	長江 嗣朗								
授業概要	<p>花卉園芸は生産園芸、趣味園芸および社会園芸等に大別できる。本講義では、生産園芸を主として取り上げて講義する。すなわち、主要な鉢物および切り花を取り上げ、現在実際に生産現場で行われている栽培技術を紹介する。この授業の目的は、主要な花卉の栽培に役立つような知識と能力を身に付けることを目指している。</p>								
関連する科目	2年前期『花卉園芸各論』、『園芸生産環境実験実習Ⅰ』、2年後期『園芸生産環境実験実習Ⅱ』								
授業の進め方と方法	<p>板書、パワーポイントを主として用いる。また、随時プリントを配布し、理解度を高める。さらに、必要に応じて実物を持参して示す。</p>								
授業計画【第1回】	第1回：日本の花卉の生産と流通								
授業計画【第2回】	第2回：ハラの歴史								
授業計画【第3回】	第3回：世界のハラ属								
授業計画【第4回】	第4回：オールドローズとモダンローズ								
授業計画【第5回】	第5回：ハラの生理								
授業計画【第6回】	第6回：切り花生産Ⅰ（ハラ）								
授業計画【第7回】	第7回：切り花生産Ⅱ（カーネーション、キク）								
授業計画【第8回】	第8回：ユリの生理と生態								
授業計画【第9回】	第9回：ユリの人為的開花コントロール								
授業計画【第10回】	第10回：ツツジ属の栽培								
授業計画【第11回】	第11回：ツツジ属（野生種および園芸品種と特徴）								

授業計画 【第12回】	第12回：切り花生産3（ストック）
授業計画 【第13回】	第13回：アンサイ属
授業計画 【第14回】	第14回：切り花の鮮度保持について
授業計画 【第15回】	第15回：まとめ
授業の到達目標	まず、花卉が人類にもたらす影響を考察し、その必要性を理解することを目的とする。【専門分野の知識・理解の獲得】 次に、国内における花卉産業は、近年海外からの輸入物の影響を受けていることを理解する。そこで、外国産の花弁と差別化ができるような国内での花卉生産について実際の現場で利用できるようになることを目的とする。【生涯学習力の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	当日の授業に関連する分野について、下記の参考書を読んで、ある程度理解をしておく。(1時間程度)
授業時間外の学修 【復習】	授業中に登場した花卉について、その生理・生態を調べて、さらなる知識を深めるように努める。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	各試験、レポートは評価後、返却する。また、その解説も実施する。
評価方法・基準	期末に行う筆記試験によって、評価する(80点)。また、授業中に実施する小テスト(20点)についても評価に加える。
テキスト	必要に応じて、適宜プリントを配布する。
参考書	「花卉園芸総論」、「花卉の開花調節」、「花卉園芸学」、「花卉園芸」、「観賞園芸学」、「花卉の栄養生理と施肥」
備考	